

No.7	団体名	鵜沼南町自主防災組織		
助成金種類 事業名	スタート助成<2年目> 災害時に備えた炊き出し訓練事業			
事業概要	自主防災組織の活動として、地震に伴ってインフラが破壊された時にガスや電気に頼らない炊き出しが出来るような態勢を準備するため、薪を用いた炊き出しが出来るように幅広い住民を対象に訓練を行う。			
事業費総額(予算)	96,239 円	助成金交付決定額	32,000 円	
事業費総額(確定)	81,478 円	助成金額(確定)	27,000 円	
主な経費内容	炊き出し訓練用消耗品費(紙皿、丼ほか)・食材費、バーベキュー用鉄板、鉄板加工委託料			

●実施内容

■炊き出し訓練の実施

日時:12月12日(日)10:00~13:00

場所:鵜沼南町会館

参加者:スタッフ・自治会員 28 名、子ども会 13 名、一般参加者 9 名(計 50 名)

鵜沼南町住民を対象とした炊き出し訓練を実施。

設備の確認、薪割りや火起こし、食材の準備などを分担して行った。

子どもに対し、マッチでの火つけ、包丁での柿剥き、おにぎり作りを経験させ、防災に対して関心を持つ機会を提供した。



■備品について

炊き出しに使用する鉄板について、1年目事業で用意した鉄板には縁がなく、食材がこぼれていたことから、反省を活かし、元の鉄板に縁を付ける加工を委託した。また、新たに購入する鉄板は、縁付きのものを選択した。

■その他

訓練実施前には防災対策課に内容を相談。

当日は防災対策課から提供を受けたアルファ米などの備蓄品を配布し、備蓄の重要性を住民に伝えた。

<申請時からの変更点>

コロナウィルス禍で活動が制限され、予定していた事前練習は行えなかった。

- 04月17日 炊き出し訓練実施打合わせ
- 08月22日 炊き出し訓練実施案 詳細検討
- 10月02日 炊き出し訓練実施案 最終検討
- 10月30日 詳細打合わせ
- 12月06日 最終打合わせ
- 12月12日 炊き出し訓練実施
- 03月12日 振り返り会議



●事業成果

- ・回を重ねる毎に会員の手際が良くなり、実際の災害時にも戸惑わずに作業が進められると感じられるようになって来た。
- ・地域住民の自主防災活動に対する認知、自治会役員の中で自主防災の重要性の認知が進んできている。

●団体の活動目的・目標

鵜沼南町に限らず、多くの地域の自治会では形式的に自主防災組織を備えているが、実態は1年交代の自治会長や班長によって構成されており、蓄積された経験に基づいた防災活動が出来るものとはなっていない。そこで、1年交代ではなく継続して活動できる組織を設立した。災害時に慌てず実際に活動できる組織を目指すとともに、日常的に防災意識の向上を図る。